

建築物排出量削減計画書

( 宛 先 ) 京 都 市 長	令和4 年 3 月 14 日
住所(法人にあっては,主たる事務所の所在地) 京都市東山区福稲上高松町11	氏名(法人にあっては,名称及び代表名) 株式会社松風 代表取締役社長 根来 紀行

京都市地球温暖化対策条例 <input checked="" type="checkbox"/> 第49条第1項 <input type="checkbox"/> 第49条第3項 <input type="checkbox"/> 第52条第1項 <input type="checkbox"/> 第52条第2項において準用する同条例第49条第3項の規定により提出します。					
工 事 の 種 別		<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築			
工事着工予定年月日		令和 4 年 4 月 10 日			
工事完了予定年月日		令和 5 年 3 月 31 日			
建築物の概要	名 称	株式会社松風 厚生館			
	所 在 地	京都市東山区福稲上高松町5番2、5番4、 福稲高原町1番3、20番1、26番			
	構 造	鉄骨造	階 数	地上 4階地下 階	
	敷地面積	11,829.66 平方メートル	高 さ	17.75 メートル	
	建築面積	865.71 平方メートル	床面積の合計 (1棟増築の場合の 増築部分の床面積)	3,320.71 平方メートル ( 平方メートル)	
	用途別の床面積	住 宅	平方メートル		
		ホ テ ル 等			
		病 院 等			
		物品販売業を営む 店舗等			
		事 務 所 等	3,320.71 平方メートル		
学 校 等					
飲 食 店 等					
集 会 所 等					
工 場 等					
建築環境総合性能評価システムによる評価の結果		3.2 S			
設計者の住所及び氏名の公表について		<input type="checkbox"/> 公表可 <input checked="" type="checkbox"/> 公表不可			

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概 要
■ 外 壁 ， 屋 根 又 は 床 の 断 熱	外壁ECPの内側に吹付断熱材を設ける 金属屋根部に断熱材（ウレタンフォーム）と 陸屋根部のスラブ下部に吹付断熱材を設ける
■ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	全ての窓ガラスを複層にし、南・西側はLOW-Eガラスを採用 ブラインドを設置
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入	LED照明を導入
■ 再生可能エネルギーの利用	太陽光発電を活用
■ 環境への負荷が少ない材料の利用	床・壁・天井に環境保全型商品を採用 外装にプレファブ材（ECP・GRC）を採用 デッキスラブにて捨て型枠の削減
■ 地 域 産 木 材 の 利 用	地域産木材（京都府）の利用
■ 節 水 型 設 備 の 設 置	節水型の衛生器具を採用
□ 雨 水 ， 雑 排 水 等 の 利 用	
■ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	外壁にECP（素材60年大洋想定）を採用 設備配管にステンレスを採用
■ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	清掃しやすいよう小便器を壁掛けとする 窓清掃が室内、バルコニーから容易にできるよう計画 システム天井・OAフロアの採用 設備スペースへの容易なアクセスルートの確保
■ 緑 化 の 実 施	緑地率10%以上を確保
□ 電 気 自 動 車 等 の 充 電 設 備 の 設 置	
■ 宅 配 ボ ッ ク ス の 設 置	いつでも荷物を受け取れる、有人の警備室を配置
■ 代替フロン由来の温室効果ガス排出削減	吹付断熱材は、ノンフロンの物を採用
□ そ の 他	

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。

3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。（敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります）